



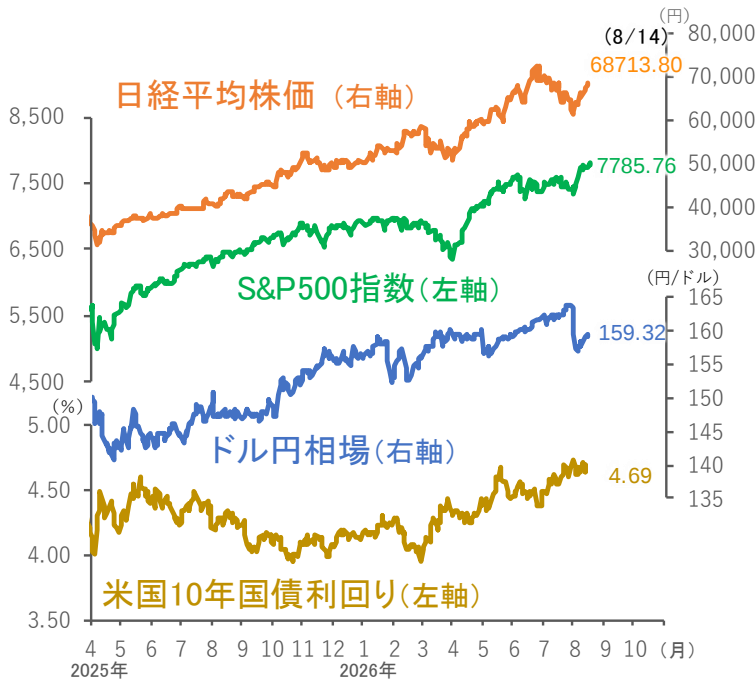
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.8.17

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、米国のインフレ指標の落ち着きを受けてFRBの早期利上げ観測が後退し、株式市場では買い優勢の展開となりました。S&P500指数は週間で+0.4%、ナスダック総合は同+0.1%、独DAXは同+0.5%、日経平均株価は同+4.7%で終わりました。なお、国内では東証株価指数 (TOPIX) がおよそ1ヵ月ぶりに最高値を更新しました。一方、債券市場では各国の財政悪化懸念などから売りが先行し、10年国債利回りは、米国が前週末比+5bpの4.69%、独は+7bpの3.20%、日本は+9bpの2.89%と終値としては約30年ぶりの高水準を付けました。ドル円は、前週末比1円56銭円安・ドル高の159円32銭で引けました。

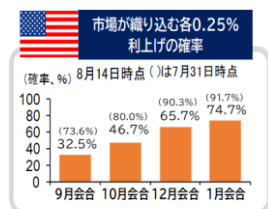
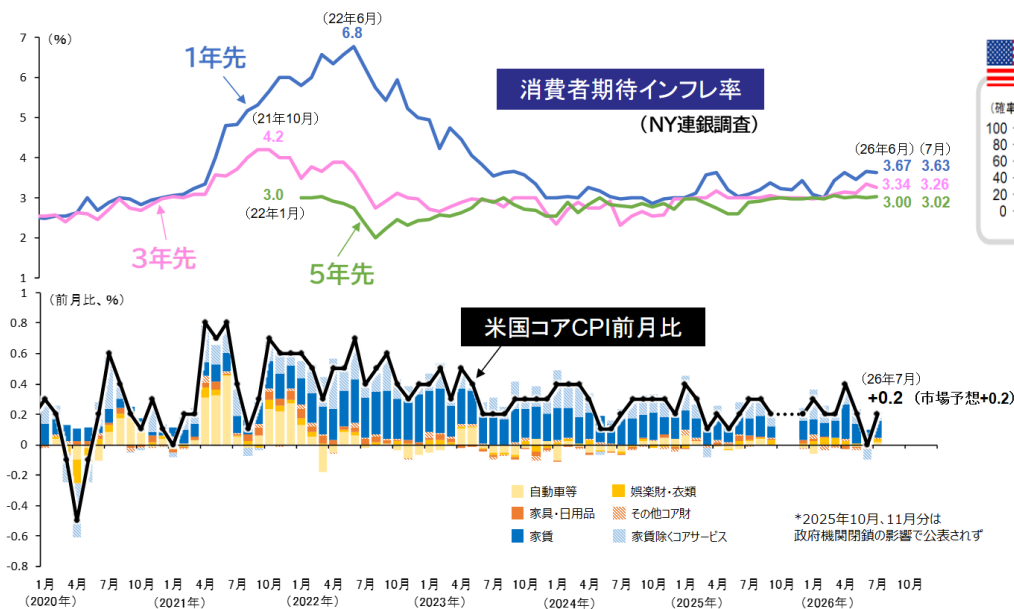
今週、国内では4-6月期GDP速報値、7月CPIが発表され、日銀の追加利上げのタイミングを見極める上での判断材料となります。米国では、8月の各種経済指標を通じて、景気回復のモメンタムが維持されているかを検証することになります。

当面の注目イベント

◆ 日・4-6月期GDP速報値	(17日)
★ 米・8月NAHB住宅指数	(17日)
★ 日・7月貿易統計	(20日)
◆ 米・8月フィラデルフィア連銀指数	(20日)
◆ 日・7月コアCPI	(21日)
◆ 日・米・欧 8月総合PMI速報値	(21日)

★：りそな景気先行指数関連指標

米国7月CPI・7月消費者期待インフレ率で物価の落ち着きが示されたほか、7月雇用統計が予想に反して悪化したことから、市場が織り込む9月FOMCでの利上げ確率は33%と7月末時点の74%から低下しました



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

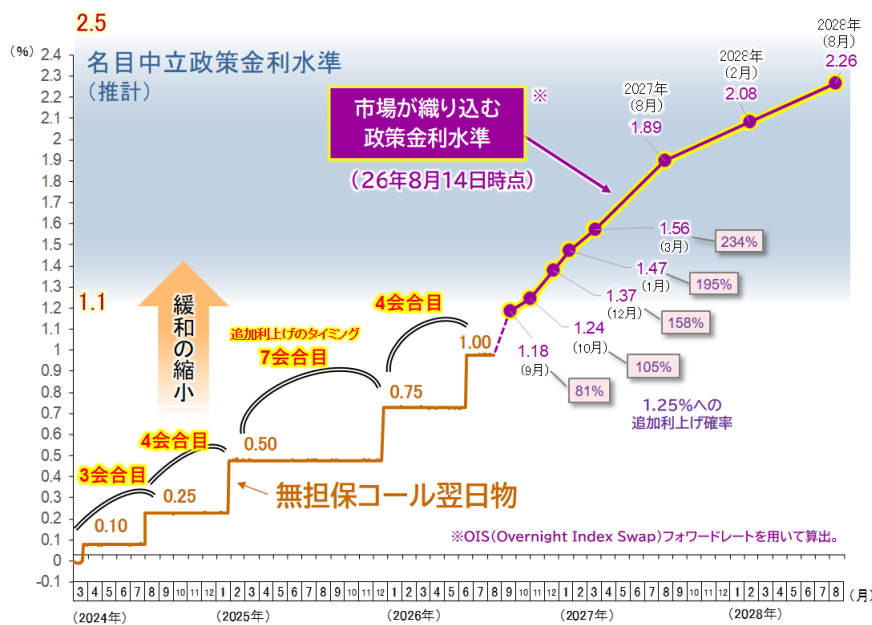
RESONA

米国が経済制裁を強化するなど中東情勢の緊張が長期化の様相を強めていることから、先週の米国債市場では、原油・ガソリン価格の高止まりや防衛費増大による財政赤字拡大懸念などから売りが先行しました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

市場が織り込む9月会合で追加利上げ(→1.25%)が決定される確率は約8割です。日銀が9月会合で利上げを決定した場合、前回利上げ(6月)から2会合目の追加利上げとなり、利上げペース加速を示すことになります



金融政策決定会合	
6月15-16日	(→1.0%へ利上げ)
7月30-31日	*
9月17-18日	*
10月29-30日	*
12月17-18日	*

注目日程	
17日	7月CPI
27日	水見野副総裁講演(埼玉)
9月2日	高田審議委員講演(札幌)
10日	増審議委員講演(福井)
11日	8月企業物価

【出所】ブルームバーグ、東京短資の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年8月24日 発行予定です

＜当資料に関するご留意事項＞

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。